「同性婚について」

№

　同性婚とは、同じ性別の者同士が婚姻関係を結ぶことである。及び、男女間の婚姻と同等の婚姻関係と認め、夫婦としての権利を法的に認めることだ。

私は同性婚に賛成だ。何故なら、人々は平等に幸せを追う権利があるだと思う。国々は人々の結婚の権利を法的に守っていると言ってるが、異性婚に限っている。故に、同性婚を認めていない国々は同性と結婚したい人から人権を奪われるではないか。人権と平等を追求している今には可笑しいではないか。

一般的に考えられている同性婚を持つ問題点は、少子化問題と宗教問題である。しかし少子化の問題は先進国全体が抱えている問題である。例えば日本は、同性婚を反対しているが、少子化の問題は進んでいる。この結果から同性結婚は少子化問題と関係ないだろう。次は、宗教が持つ同性婚の問題としては、聖書によると結婚は男女がお互いに結ばれなくてはならないと記されている。盲目にしたがって教徒は、それを従わないといけないと思っている。しかし、現在聖書に記されている教義を全て従っている教徒はいるか？例えば聖書のレビ記による豚は不潔の故、絶対食用にできない動物だ、ですが今この教義に守ってない教徒は数え切れない程いるのだろう。今の聖書の教義は時代に遅れてるのが証明ではないか。そもそも異性婚の概念は古人が生産力を守るの手段の一つである、今この人口爆発の時代には、従う必要はいまでもあるかと思う。

私は、愛は色々な形でこの世の中に存在しいると信じている。同性婚を反対する行為は差別当然と思う。愛し合うカップルは結ばれないとは可哀想ではないか。そして異性愛だけ守っている法律は矛盾しており不平等ではないと感じる。賛成する必要はないが、反対する必要もない、自分の信念を強引に別人に変えるのは大変不適切の行為である。